

県都・那覇市から
デニー知事を支えます

城間

みきこ



新知事 玉城デニー

ウチナーンチュ
マキティーナイピランド

翁長雄志さんから市政を受け継いだ者として、遺志を継ぎ、沖縄の心で新基地ノ一、建白書実現にがんばります。

玉城デニー新知事をしっかり支え、平和・子ども・未来 市民とともに、やさしく 温かく こまやかに 心をひらく未来をひらきます。

みなさまのご支持をお願い致します。

成長力・魅力度 No.1

発展那覇の力と人材いかし、自立経済を！

「笑顔かがやくうまんちゅ市民の会」会報 10月12日 城間幹子市長が2期目をめざします。

那覇市松山2-2-13 ☎863-7833 Fax863-7835 この会報は選挙期間中でも自由に配布できます。



デニー新知事を誕生させた
うちなーんちゅの誇りと尊厳
保革を超えた力を今度はみきこへ



子どもたちの
夢をあきらめさせない！

城間みきこ やさしさの原点は…

私

は高校2年の春に突然、父を亡くしました。1年後、大学進学が決まり母に本土の大学に行きたいと言いました。「行かせてあげるからね」の母の一言は今でも耳に残っています。後から聞いた話だと母は、親戚中をかけずりまわったそうです。

奨

学金を受けてアルバイトをしながら大学に通っていました。また私自身、シングルマザーで長女と次女を大学に行かせるために、共済組合からお金を借り、4年前、ようやく返し終わりました。

親

の経済状況で、子どもたちが就学旅行に行けない、進学をあきらめるなど、夢をあきらめさせてはならない！そのためにも経済振興が大事です。経済振興は、子育て支援、子どもの貧困対策ともつながっています。こんな思いで市政にとりくみます。



城間みきこ プロフィール

- 1951年生まれ。
- 松川小学校卒業。
- 真和志中学校 18期卒業。
- 那覇高校 22期卒業。
- 国立宮城教育大学卒業。

- 中学校国語科教諭として、神森中、古蔵中、那覇中、小祿中、石田中、上山中、琉大附属中で勤務。
- 石嶺中学校で教頭。鏡原中、香港日本人学校中部、城北中学で校長。
- 那覇市教育委員会学校教育部長、教育長、副市長を経て、2014年、翁長雄志市長の後を継ぎ、県都初の女性市長に就任・1期。第32代市長。
- 長女・次女 孫3人。



翁長雄志前知事は、高校の同級生。急逝は本当に悔しく、残念でなりません。私は、遺志を継ぎ、平和を希求する「沖縄の心」を伝えたいと思います。

那覇市の飛躍、誇りある豊かさは



城間

みきこ

時代の先進をいく
決断力と実行力
まかせてください!

経済
振興

はばたく那覇市は 世界を視野に市民の力で



県内11市で
那覇市の経済成長力1位
(野村総研、2017年調査)

県内11市で
那覇市の魅力度1位
(ブランド総合研究、2017年調査)

那覇市の予算
1296億円→1502億円
2014年度決算 2017年度決算

那覇市の情報通信産業
266社
雇用者数 **1万3114人**
生産額 **約2100億円**
2016年度

さらに
2期目で

- 中小企業支援、新商品開発、新産業創出を推進し、市民所得向上。
- 国際物流拠点へ臨空・臨空型産業集積促進。
- 牧志第一公設市場の再整備を推進。アーケード再整備を支援。
- 那覇港第2クルーズ船バース建設。
- 観光・中小企業・IT等、那覇を支える人材育成。
- 市発注の仕事には適正な賃金を確保(公契約条例制定)。

市民
生活

みんなの豊かさは 市民目線のみきこ市長で

認可保育所等の数
70→141
2014年度 いま

保育所の定員
7422人→11405人
2014年度 いま



さらに
2期目で

市独自の給付型奨学金制度
子育て世代包括支援センター
ら・ら・らステーション

県内初

国の子どもの貧困対策の事業費は H33年度までで終わります。その後も必要な事業を展開するために「こどものみらい応援プロジェクト推進基金」という大きな財源も用意してあります。県内初の取り組みです。

- 中学卒業まで医療費無料化。
- 県政と連携し、保育料の無料化推進。
- 保育所をさらに増やし、保育士確保。保護者が希望するかたちで入園できるよう改善。
- 子ども貧困対策拡充・継続。



骨髄移植ドナー
の休業補償 県内初

ゴミ出しが
楽になったサー



県内唯一の都市型公共劇場



那覇市の施設・住居系サービスの拡大は、全国中核市で5番目に高い上昇率です。

特養老人ホーム
4年間で
3施設、87床増やす。

地域密着の
地域包括支援センター
12か所から18か所に増やす。

さらに
2期目で

- 伝統文化の継承・新たな文化芸術の発信へ、文化の殿堂・新市民会館建設。
- 新たな交通システムとなる LRT 等の本格的導入。
- 医療・介護・予防・生活支援が包括的に確保される地域包括支援センターを拡充。
- 消防力の強化。学校施設耐震化100%へ。
- 犬猫殺処分の廃止をめざす。

自民党前県議 政府いいなり

政府いいなりノー! 県知事選で県民が審判をくださいました。それなのに、自民党前県議は、「国と対立することは無益」といっています。民意にも、時代の波にも、乗り遅れています。自民党の前県議は、自民党県連会長時代に、辺野古移設容認へ転換。「確かな経験」(リーフ)は「政府に屈服」「政府いいなり」という経験です。

自民党前県議 庶民の苦勞がわからない?

市民の声、議員の提案にこたえて、城間みきこ市政がゴミ袋に取っ手付きを追加、骨髄移植ドナーの休業補償も実現。ところが「何もしない市政」という自民党前県議。市民の切実な願いが、わかっていないからです。くらしの切実な願いはたくせません。